

2022年度特別展 Information

「沖縄復帰50年記念 特別展 琉球」

「東京国立博物館創立150年記念 特別展 国宝 東京国立博物館のすべて」… 2

「東京国立博物館創立150年記念事業」… 3

創立150年記念特集展示

「特集 収蔵品でたどる日本仏像史」

「特集 時代を語る洋画たち——東京国立博物館の隠れた洋画コレクション」

「特集 東博のガラスコレクション——明治期ガラス工芸の諸相」

「特集 チベット仏教の美術——皇帝も愛した神秘の美——」… 4、5



東京国立 博物館 ニュース

展示と催し物案内
第769号

2022

6・7・8



裏表紙に
掲載してるほ！



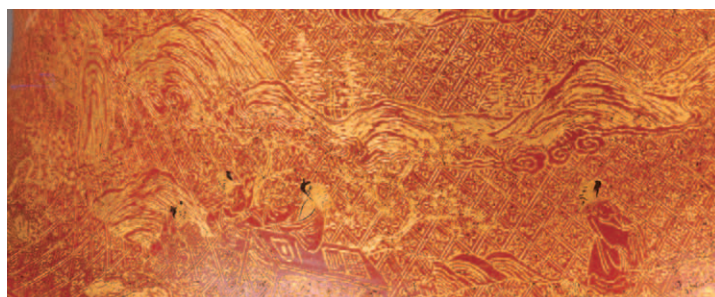
表紙の名品「瑪瑙金魚」



浦添市指定文化財
朱漆山水人物沈金足付盆
第二尚氏時代・16～17世紀
沖縄・浦添市美術館蔵



山里に暮らす文人を、親しい友人が訪れる情景です



(足部分) 書を嗜む文人の姿が、沈金によって表されています

沖縄復帰50年記念 特別展

「琉球」

平成館特別展示室 5月3日(火)祝～6月26日(日)

本作品は、全体に朱漆を塗って沈金で装飾された足付盆です。沈金とは、漆器の表面に線を彫って金箔を埋める技法です。足付盆は、琉球の特徴的な器物であり、ここに食器や酒器を載せて運んだり飾ったりしました。円形の足付盆は、首里城での儀式などで用いられるため、王家を表す左巴紋や牡丹唐草文のような定番の意匠があるのですが、本作品には中国風の山水幽居図が表されています。皴法（中国絵画における山などの描写表現）で表された山が連なる里のなかで、文人たちがひっそりと暮らし、琴棋書画図のような趣味を嗜む情景が、まるで一幅の絵画のように描かれています。これこそ沈金の技巧を駆使した琉球漆器の屈指の名品です。（猪熊兼樹）

観覧料：一般2,100円、大学生1,300円、高校生900円

展覧会公式サイト <https://tsumugu.yomiuri.co.jp/ryukyu2022/>

※本展は事前予約不要です。混雑時は入場をお待ちいただく可能性がございます。詳細は展覧会公式サイト等をご覧ください。



国宝刀剣の間(会場イメージ)

東京国立博物館創立150年記念 特別展

「国宝 東京国立博物館のすべて」

平成館特別展示室 10月18日(火)～12月11日(日)

当館は、国宝に指定されている美術工芸品の約1割となる89件を所蔵し、日本最大の国宝コレクションを誇ります。創立150年を記念して開催する本展では、この国宝89件すべてを公開します（会期中展示替えあり）。これは150年の歴史上初めての奇跡的なことで、次の機会は50年後かもしれません。89件の国宝は分野により素材や形状がさまざまです。本展では作品ごとに最適な展示デザインを追求して、最高の展示環境でご鑑賞いただけます。とくに国宝刀剣19口（所蔵数日本最多）は、見どころである刃文や地鉄をより美しく見せるためにケースの形状や照明にこだわった展示空間、名付けて「国宝刀剣の間」でまとめて展示します。ひとつずつじっくり鑑賞するのもよし、時代や地域による違いを見比べるのもよし、それぞれの刀剣がもつ物語に思いを馳せるのもよし、日本刀の魅力にどっぷり没入していただきたいと思います。（佐藤寛介）

展覧会公式サイト <https://tohaku150th.jp/>

観覧料金、入館方法等の詳細は、今後展覧会公式サイト等でお知らせします。



●太刀 銘 備前国包平作（名物 大包平）平安時代・12世紀
その雄大な造形に由来する名前をもつ、日本刀の横綱とも称される名刀です



●太刀 銘 安綱（名物 童子切安綱）平安時代・10～12世紀
日本刀成立期の刀工伯耆安綱の代表作。鬼切伝説をもつ天下五剣のひとつです

※特別展、総合文化展、催し物につきましては、今後の諸事情により予告なく変更する場合がございます。最新情報は、当館ウェブサイト等をご覧ください。

※上記特別展はすべて、中学生以下無料。障がい者とその介護者1名は無料（入館の際に学生証、障がい者手帳などをご提示ください）。／お問合せ：050-5541-8600（ハローダイヤル）
※●は国宝、◎は重要文化財（重文）、○は重要美術品（重美）を表します。特に表記のないものは東京国立博物館蔵です。

創立150年
記念企画

4

「踊る埴輪&見返り美人修理プロジェクト」を始めました！

皆様からのご寄附で文化財修理を行うプロジェクトを実施しています。修理する作品は、当館所蔵の「埴輪 踊る人々」と「見返り美人図」です。当館を代表する作品の修理をきっかけに、ひとりでも多くの方と一緒に過去と未来の懸け橋となって、かけがえのない文化財をつないでいきたい。その思いから創立150年にあたるこの年に修理プロジェクトを立ち上げました。目標金額は1,000万円。

皆様のあたたかいご支援をどうぞよろしくお願い致します。

ご寄附の受付

①ウェブサイト

(<https://www.tnm.jp/150th/project/fundraising.html>)
クレジットカード決済または銀行振込(1口1,000円〜)でお申込みください。オリジナルデザインの記念品などもご用意しています。

②募金箱(本館1階11室脇階段室)

ポストカードとしても使える、まちがいさがしをお配りしています。



ご寄附のお申込み
はこちらから



はにわ おど ひとびと
埴輪 踊る人々
埼玉県熊谷市野原古墳出土
古墳時代・6世紀
本館1室にて
7月3日(日)まで展示



みかえ びじんず
見返り美人図
菱川師宣筆
江戸時代・17世紀
東京国立博物館創立150年記念
特別展「国宝 東京国立博物館の
すべて」にて10月18日(火)から
11月13日(日)まで展示

創立150年
記念企画

5

月イチ！トーハクキッズデー

詳細は12・13ページでご紹介しています。

創立150年
記念企画

6

7月20日(水)～7月24日(日) は無料観覧日

創立150年を記念して、上記期間は総合文化展を無料で観覧いただけます。7月24日(日)はランドキッズデー(→12・13ページ)を開催します。

TOKYO NATIONAL
MUSEUM

150
1872-2022

東京国立博物館 創立150年記念事業

2022年3月10日で創立150年を迎えました。本号では、創立150年にふさわしい特別な記念イベントを多数ご紹介いたします。これまでもない当館の新たな取り組みにぜひご注目ください。

創立150年
記念企画

1

リアル脱出ゲーム 東京国立博物館からの脱出

2022年5月12日(木)～来春(予定)
東京国立博物館構内

当館を舞台にした体験型謎解きイベントを開催中です。謎解きを楽しみながら、館内で起こった不思議な出来事の実を解明していきます。なお、本イベント参加には専用の謎解きキットの購入と参加者ご自身のスマートフォンへの専用アプリのダウンロードとイヤホンが必要となります。



料金：謎解きキット代2,200円
(別途参加当日の入館料が必要です)
イベント参加所要時間：2～3時間(目安)

※謎解きキットのご購入、参加方法等の詳細は、(株)SCRAPのウェブサイト(<https://realgame.jp/tnm/>)をご覧ください。

創立150年
記念企画

2

コラボレーショングッズ 第2弾

これまで当館では、三越伊勢丹と連携し、お中元・お歳暮をはじめ、多くの商品を販売してきました。今回は、『この輝く「宝物(おもい)」をみらいへ。』と題して、2022年のお中元・お歳暮にて当館の名品の数々をあしらった商品を、発売いたします。



三越伊勢丹お中元特設サイトは
こちらから

創立150年
記念企画

3

東京国立博物館正門横に ポストを設置しました

正門横に創立150年記念のラッピングをした郵便ポストを設置しました。創立150年記念ロゴマークのモチーフの「唐草文」をあしらったデザインとなっています。来館の記念にショップで購入したポストカードなどを送ることができます。



ラッピングイメージ

特集 収蔵品でたどる日本仏像史

本館14室 5月17日(火)～7月10日(日)

日本に仏教が伝えられた際、仏具や経典などとともに仏像がもたらされ、その後、日本でも仏像がつくられるようになりました。仏像には、祈りを捧げる人々の心に應えるために、信仰の対象としてふさわしい姿が求められました。仏像の造形には時代ごとに流行した様式があり、そこには当時の人々の美意識や趣向が反映されています。

当館には、さまざまな仏像が収蔵・寄託されています。本特集では、このうち、飛鳥時代から近代にいたる各時代の作品を展示します。時代ごとの造形的な特徴を示しながら、材質や制作技法を含めてその変遷をたどることで、日本の仏像を通史的に紹介します。(増田政史)

円空の 信仰を体現 如来立像

円空作
江戸時代・17世紀
群馬・光性寺旧蔵
鶴田力氏寄贈
木の質感を生かした造形。僧侶の円空が自ら刻んだ作とみられます



堂々たる 佇まいの平安仏 天王立像

てんのうりゅうざう
平安時代・9～10世紀
量感あふれる体つきに力強さが感じられる一木造の像です



天平の技が 生んだ写実性

◎日光菩薩坐像

奈良時代・8世紀
京都・金輪寺、京都・高山寺旧蔵
弾力のある肉体や柔らかな衣など、写実的な表現が特色です



岡倉天心が欲した水彩画

富士山腹帰樵

アルフレッド・バーソンス筆 明治25年(1892)
英国の水彩画家バーソンスの来日時作品です。岡倉天心が直接筆者と交渉して購入しました



レンブラント 生誕350年を 前に購入!?

が 画 家 と そ の 妻

レンブラント・ファン・レイン筆
オランダ 1636年
レンブラント生誕350年となる1956年を控えた、1950年の購入作品です。当時は表慶館で西洋美術の展示を行っていました



明治時代に海外から当館へ

夕日の港

原 本: クロード・ロラン筆
イギリス 19世紀 グラスゴー博物館寄贈
イタリアなどの古典的文化遺産を見聞する旅行がイギリスの富裕層の子弟に流行すると、本作のようなローマの古代風景を描くロランの模倣作までも珍重されました

特集 時代を語る洋画たち

東京国立博物館の隠れた洋画コレクション

平成館企画展示室 6月7日(火)～7月18日(月・祝)

特集

東博のガラスコレクション — 明治期ガラス工芸の諸相 —

本館14室 7月12日(火)～9月4日(日)



発色も鮮やかな切子の鉢

きり こどうあかいろ き はち
切子銅赤色被せガラス鉢

宮垣秀次郎作 明治14年(1881) 頃
第二回内国勲業博覧会出品

薩摩切子を学んだ宮垣秀次郎の代表作で、
第二回内国勲業博覧会に出品されました



カラフルな渦巻が見どころ

ふいろ ひつとう
斑色ガラス筆筒

品川工作分局硝子製造所 明治14年(1881) 頃
品川工作局寄贈 第二回内国勲業博覧会出品

複数色の螺旋模様がユニークな筆筒。日本初の
官営ガラス工場で作られました



江戸時代に海を渡って きたガラス

はくしよく か ちょうもんあしつきはい
白色ガラス花鳥文脚付杯

19世紀

幕末には日本に伝わっていた、白色
レース文様の長い柄をもつ外国製の
杯です

本特集では、当館所蔵のガラス作品のな
から、主に明治期前後につくられ、博物
館草創期にコレクションに加わった作品をこ
紹介します。

日本では、江戸時代から食器など生活用
具のガラス器が本格的につくられるようにな
り、明治になると西洋に学んだガラス生
産の強化を目指して国営工場も設営されて

います。また、江戸時代末から薩摩や江戸
でつくられるようになる切子ガラスは、高
度なカットニング技術によって緻密で豊富な
文様表現を生み出しました。当館所蔵品に
は、そうした日本の切子ガラスにも影響を
与えた、舶来の珍しいカットガラスなども含
まれており、本特集ではそれらもあわせて
展示します。

(横山梓)

特集

チベット仏教の美術 — 皇帝も愛した神秘の美 —

平成館企画展示室 7月26日(火)～9月19日(月・祝)

インドの仏教を継承しつつ、独自の展開
を遂げたチベット仏教。モンゴルや中国まで
広まり、清朝の歴代皇帝も魅了しました。
日本人として初めてチベットを訪れた僧、河
口慧海(1866～1945)の旧蔵品を
はじめ、当館もさまざまな経緯でチベット仏
教関係の資料を収蔵しています。このたび、
絵画・彫刻・工芸など多分野にわたる優品を、

1999年の特集展示「河口慧海将来品と
ラマ教美術」以来、約20年ぶりに公開します。
チベット製の仏像のほか、明時代にチベット
からの朝貢使節への返礼品として製作され
た作品や、乾隆帝を代表とする清時代の宮
廷工房でつくられた品々から、チベット仏教
美術の魅力をご覧ください。 (西木政統)

チベット仏教ならではの 夫婦の仏

チャクラサンヴァラ
父母仏立像

中国・チベットまたはネパール
15～16世紀 服部七兵衛氏寄贈
父母仏(ヤブユム)とは、男女の
仏が抱き合う姿の仏像で、
チベット仏教特有の表現です



名僧の功績を伝える肖像画

ツォンカバ伝

中国
清時代・18～19世紀
最大宗派であるゲ
ルク派の祖ツォンカ
バの肖像。周囲には
伝記が描かれます



繊細かつ華やかな 文様が魅力

しきぶつとう
チベット式仏塔

中国 清時代・19世紀 横河民輔氏寄贈
磁製の仏塔。粉彩と呼ばれる技法で華麗
に装飾されています。中には仏像を納め
ていたと思われます

Pick up!

本館

強烈なインパクトの兜

白糸威一の谷形兜

6月7日(火)～8月28日(日)

5・6室 武士の装い



白糸威一の谷形兜
安土桃山～江戸時代
16～17世紀

徳川家康が用いたと伝えられる変わり兜です。本体はヘルメット形の頭形兜で、上部に源義経の鴨越の逆落として名高い、一の谷の断崖絶壁を表した頭立を飾り、さらに後頭部には高さ90cmを超える大釘形の後立を飾ります。重くて大変そう? 大丈夫、安心してください。実は頭立は革製、後立は木製で、とても軽くつくられています。大釘は敵を打ち貫く縁起のよい意匠として戦国武将に好まれました。しかも全体が銀箔で飾られており、白銀に輝く大釘は戦場でさぞ目立ったことでしょう。

(佐藤寛介)

本館

かわいらしい犬の表情にほっこり

朝顔狗子図杉戸

8月9日(火)～9月19日(月・祝)

7室 屏風と襖絵―安土桃山～江戸



朝顔狗子図杉戸 (部分)
円山応挙筆
江戸時代・天明4年(1784)

朝顔のまわりで戯れ遊ぶ子犬たち。その愛らしさに思わず微笑んでしまう作品です。筆者の円山応挙は、江戸時代、写生にもとづく画風で一世を風靡した画家です。近寄ってよく見てみると、子犬たちの毛並み一本一本まで丁寧に描かれていることがわかります。この作品、もとは尾張国(現在の愛知県)にある明眼院の書院の廊下を仕切る杉戸絵でした(現在は当館の庭園に移築されています)。応挙は描写だけでなく空間のリアルさを意識した作品も得意としていました。きつと当時は、画面の下半分のみを描かれた子犬たちが、廊下と地続きでじゃれ合っているかのように見えたことでしょう。

(大橋美織)

東洋館

小さな光背に注目!

仏伝「誕生」

通年展示

3室 インド・ガンダーラの彫刻



仏伝「誕生」 バキスタン・ガンダーラ
クシャーナ朝・3世紀

ブツダの超人性を表すエピソードにはいろいろありますが、なかでも好まれたのが誕生

です。母となる摩耶夫人が産座で里帰りに向かう途中、休憩で立ち寄ったルンビニーで無憂樹という木の枝に右手をかけたところ、その脇下から生まれて光背が表されています。生まれながらに光背が表されていますね。ブツダを受け止めるのはインドの神、帝釈天で、その隣で合掌するのは同じく梵天。摩耶夫人を介助するのは妹です。樹木と女性がセットになるのは、インドにおける精霊の伝統的な表現で、これを参考にガンダーラで誕生図の定型が生まれ、7月10日(日)まで本館14室で展示中の摩耶夫人像*にまで受け継がれました。

(西木政統)

*7月20日(水)より法隆寺宝物館で展示します。

東洋館

鮮やかな刺繍が施された貴族の日常着

坎肩 紅透紋紗地花蝶文様刺繍

6月28日(火)～9月19日(月・祝)

5室 中国の染織 清朝の染織



坎肩 紅透紋紗地花蝶文様刺繍
中国 清時代・19世紀

「坎肩」とは、満州族の衣装から発展したチョッキ形式の上着を指します。鶴岡文のみを透ける紗組織*としており、紅色の裂の周囲には、密に刺繍を施します。この作品は、19世紀・清時代の皇族や貴族の女性が、日常着として着用したものと考えられます。

牡丹は、富や高い地位を示す代表的な花であり、また、蝶の字は80歳を意味する「耄」と中国語で字音が通じることから長寿を示唆します。きらびやかで卓越した刺繍には、吉祥の願いが込められているのです。衣装に託された人々の思いが伝わってくる作品です。

(沼沢ゆかり)

*経糸を揃めることで糸同士に隙間ができる織り方。

Pick up!

平成館

日本ではとても珍しい容器

家形容器

6月7日(火)～12月4日(日)

考古展示室



家形容器
古墳時代・5世紀
和歌山市大同寺古墳出土

古墳時代中期の5世紀、朝鮮半島より新しい技術や文化が日本列島に伝えられました。須恵器を窯で焼くようになったのもこの頃で、半島から渡来した人々による技術供与がありました。本作品は、半島との関わりの深い、紀ノ川下流域の古墳から出土したものです。須恵器のモデルとなった半島産の陶質土器にとっても良く似ており、とりわけ半島南部の加耶地域に類例が認められるものです。切妻造の建築を模した容器の壁には孔があいており、そこに竹管をさし、液体を注ぎました。もしかしたら、この容器で、故郷を想いながら、渡来人がお酒を飲み交わしたのかもしれない。(河野正訓)

法隆寺宝物館

気品あふれる螺鈿細工

重文 鳳凰円文螺鈿唐櫃

6月21日(火)～9月11日(日)

第4室 木・漆工―調度



◎鳳凰円文螺鈿唐櫃
平安時代・12世紀

長方形で、浅い蓋が備わり、短辺に各1本、長辺に各2本の脚が付いて、底面が接地しない唐櫃という形式の収納容器です。木製で、表面には黒漆が塗られ、木地に薄く削いだ貝殻を嵌める螺鈿の技法で、鳳凰を円くかたどった文様を概ね五の目*に散らしています。文様の内部には金粉が蒔かれ、一層華麗に装飾が施されています。脚にも小さな鳳凰円文が細かに並べられています。鳳凰は左向きと右向きがあり、蓋の上面では長辺方向からみると各辺が正面になるように配置に工夫がなされています。大ぶりで大らかな文様や角を落とした和らいだ形状には、王朝時代の気分が漂います。(清水健)

* さいころの五の目のような形。

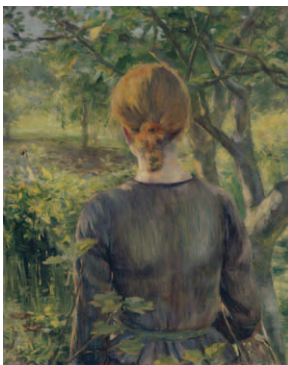
黒田記念館

思わず惹き込まれる後姿

赤髪の少女

7月31日(日)

黒田記念室



赤髪の少女
黒田清輝筆 明治25年(1892)

こちらに背を向けた、輝く髪 of 少女。彼女の眼前には木々が枝を重ね、一旦遮られた視線は、画面左側の、きらめく光そのもののよう奔放な筆致で描かれた草原へと向かいます。少女の後姿を通じて、私たちは画中の空間に誘われているのです。

下半身を大胆に断ち切り、草花と少女が重なるように描いた構図は新鮮で、どこかジャポニスム絵画を思わせます。帰国を翌年に控えた黒田の油彩画修業の成果を示すこの作品は、パリを拠点とした美術商・林忠正の旧蔵品でした。

(東京文化財研究所・吉田曉子)

トーハクの調査研究 ①6

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

創立150年記念のデザインから見た、新たな課題

創立150年記念のデザインは、「連続性」をキーワードに、唐草をモチーフにしたグラフィックと、1955年に撮影された1枚のモノクロ写真を軸に展開しました。この写真は、本館玄関を行き来する来館者の様子をとらえたものです。画質は粗いですが、過去や未来とのつながりを感じさせる、鮮明な印象と説得力ある写真です。

制作にあたり、当館の写真を調査してあることに気づきました。それは来館者が写っている記録が少ないことです。時代が古くなるほどその傾向が強く、記録の残し方からも、その時代ごとの博物館の在り方を感じられました。さまざまな来館者が、どんな展示をどのように見ていたか、それをいかに記録に残しているのか、そんな新たな課題も見えたプロジェクトでした。

(荻堂正博)



創立150年記念ロゴマーク制作中の様子

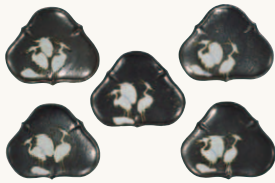
4

茶の美術

6/7(火)-8/28(日)

古染付手桶形水指

中国・景德鎮窯 明時代・17世紀 広田松繁氏寄贈
木製の手桶を磁器で表したもの。
竹を象った蓋のつまみにも注目です



錆地染付白鷺文向付
伊万里 江戸時代・17世紀



3-3

禅と水墨画
—鎌倉〜室町—

6/7(火)-7/18(月)・祝

芭蕉夜雨図

太白真玄等十四名賛
室町時代・応永17年(1410)



(部分)

7/20(水)-8/28(日)

西王母・東方朔図

伝狩野元信筆 旧大仙院方丈障壁画
室町時代・16世紀

禅宗寺院の障壁画だった作品で、中国の著名な仙人が描かれています



(部分)

5

4

3-3

3-2

3-1

2

特別1室

1-1

1-2

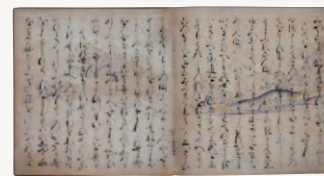
3-2

宮廷の美術
—平安〜室町—

6/7(火)-7/18(月)・祝

扇面画帖

室町時代・15〜16世紀



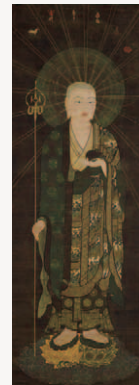
7/20(水)-8/28(日)

松浦宮物語

鎌倉時代・13世紀
藤原定家作とされる物語。
料紙には葦手などが描かれています



3-1

仏教の美術
—平安〜室町—

6/7(火)-7/18(月)・祝

春日赤童子像

室町時代・16世紀

春日の神が仏法を守る神として現れた姿。
神仏習合思想に基づく画像です



(部分)

7/20(水)-8/28(日)

地蔵菩薩像

鎌倉時代・14世紀

苦しみの世界である六道、特に地獄道からの救済に活躍するといわれる菩薩です

1-1

日本美術のあけぼの
—縄文・弥生・古墳—

-7/3(日)

脚付長頸壺

古墳時代・7世紀
三重県鳥羽市 蟹穴古墳出土
川原松蔵氏寄贈
完全な形で残った古墳出土品で、流れる深緑色の自然釉が際立ちます



7/5(火)-12/25(日)

袈裟褌文銅鐸

弥生時代(後期)・1〜3世紀
静岡県浜松市三ヶ日町
釣荒神山出土
水野忠弘氏寄贈

1-2

仏教の興隆
—飛鳥・奈良—

-7/18(月)・祝

観音菩薩立像

飛鳥時代・7世紀
和歌山県東牟婁郡
那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈



-12/25(日)

金銅鉢

奈良時代・8世紀
堂々たる姿の鉢で、安定よく据わらせるための台を伴っています



2

国宝室
(特集 未来の国宝 —東京国立博物館 書画の逸品—)

6/7(火)-7/3(日)

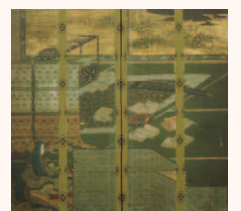
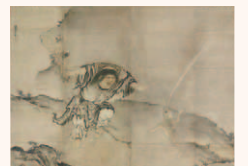
春日宮曼荼羅

鎌倉時代・13世紀

7/5(火)-7/31(日)

蝦蟇鉄拐図

雪村周継筆
室町時代・16世紀



(部分)

8/2(火)-8/28(日)

源氏物語図屏風(初音・若菜上)

土佐光起筆 江戸時代・17世紀
御簾(みす)越しに源氏物語の情景を描く、類例のない源氏絵の逸品です

-6/26日

さんすいず おし え ばりひょうぶ
○山水図押絵貼屏風
久隅守景筆
江戸時代・17世紀

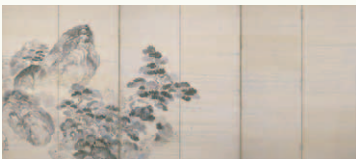


7

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

8/9日-9/19日(祝)

せい こしはんけいせんとうかんちゅうずひょうぶ
◎西湖春景銭塘観潮図屏風
池大雅筆 江戸時代・18世紀
水面を表す淡い色彩が美しい、
中国の有名な景勝地を描いた
屏風です (左隻)

**6/7日-8/28日**

しろいとどし
白糸威
いちの谷形兜
安土桃山～江戸時代・
16～17世紀
(→6ページ)

**6/14日-9/4日**

た ち きくのおんさく
太刀 (菊御作)
伝後鳥羽上皇 鎌倉時代・13世紀



くろうるしのうちがたな
黒漆打刀
た ち でんご と ばしゅうこう きくのおんさく こしろう
(太刀 伝後鳥羽上皇 (菊御作) の拵)
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
戦国大名上杉家伝来の打刀拵。
刀身は後鳥羽上皇の作と伝わる太刀です



5・6

武士の装い
— 平安～江戸

6/7日-8/28日

せりまさ え わん
芹蒔絵椀
安土桃山時代・16世紀
荒川浩和氏寄贈

北条氏政が早雲寺(そうんじ)に
寄進したと伝わる蒔絵椀の一組。
金蒔絵の繊細な表現が特徴です



きりたけもんきょう

桐竹文鏡

青家次作
安土桃山時代・天正16年(1588)



8-1

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

6/28日-8/7日

たかさごす さん
高砂図簀
池大雅筆 江戸時代・18世紀
久世民榮氏寄贈

謡曲・高砂の一場面。柔らかい筆致の書と
絵が印象的な作品です

**8/9日-9/19日(祝)**

う し しょうとんず
◎宛道朝暉図
青木木米筆 江戸時代・文政7年(1824)
爽やかな色彩で宇治の景色を描いた木米の
代表作です



8-2

書画の展開
— 安土桃山・江戸

6・7・8月

本館展示

日本美術の



9

能と歌舞伎

-7/3日

ぬいはく
縫箔
こうはくみどりむらさきだん
紅白緑 紫段
かごめ かきつばた もよう
籠目杜若模様
江戸時代・19世紀
杜若の花がさまざまな色で表現され、
刺繍独特の面白さがあります

**7/5日-8/28日**

す おう ちゃあさじ かさ もよう
素襖 茶麻地傘模様
室町時代・16世紀
傘の模様を大胆に型染で表した素襖の上衣です



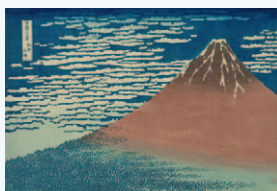
浮世絵

6/7日-7/3日

めいしよ え ど りゃんけい
名所江戸百景・
両国花火
歌川広重筆
江戸時代・安政5年(1858)
華やかな花火と、シル
エットによる人物たちの
対比が見どころです

**8/2日-8/28日**

ふ がくさんしゅうろつけい
富嶽三十六景・凱風快晴
葛飾北斎筆
江戸時代・19世紀
夏の雄大な富士
を描いた、「富
嶽三十六景」シ
リーズ中、人気
の1枚です



衣装

-7/3日

こ そで しろうくろへにそめわけ
◎小袖 白黒紅染分
りんず しの しふじもよう
綷子地熨斗藤模様
江戸時代・17世紀
刺繍と金箔の模様で
全身を埋め尽くした
江戸時代初期の晴着
です

**7/5日-8/28日**

かたびら くらあさじ ひ われ
帷子 黒麻地水割
もめじも じ もよう
紅葉文字模様
江戸時代・18世紀
真夏の帷子には、季節を
先取りする紅葉と涼し気
な氷の模様です



10

浮世絵と衣装
— 江戸

15

歴史の記録

-7/10日

◎日本沿海輿地図(中図)

北海道東部

伊能忠敬作 江戸時代・19世紀

北海道の東半部で、国後島(くなしりとう)や色丹島(しこたんとう)も描かれています

7/12(火)-9/4(日)

◎日本沿海輿地図(中図)

北海道西部

伊能忠敬作 江戸時代・19世紀

北海道の西半部で、現在の雄武町(おうむちょう)、様似町(さまにちょう)以西が描かれています



14

特集

-7/10日

「収蔵品でたどる日本仏像史」

(→4ページ)

観音菩薩立像

飛鳥時代・7世紀
和歌山県東牟婁郡
那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏
他2名寄贈
細身で整ったプロ
ーションが美しい金銅仏です

7/12(火)-9/4(日)

「東博のガラスコレクション

—明治期ガラス工芸の諸相」(→5ページ)

ガラス七宝脚付杯

竹内忠兵衛作 明治14年(1881)頃
第二回内国勸業博覧会出品
竹内忠兵衛氏寄贈
第二回内国勸業博覧会出品作で、ガラスに七宝を表した珍しい作品です



13-3

陶磁

-7/18(月)・祝

カラカラ(色絵線刻格子文水注)

沖縄本島 壺屋焼
第二尚氏時代・18世紀末～19世紀
腰が広く横に張った、ユニークな形の沖縄の酒器です

-10/16日

色絵翡翠図平鉢

伊万里 江戸時代・17世紀

13-2

刀剣

-7/31日

◎太刀(名物 福島兼光)

長船兼光 南北朝時代・14世紀 渡邊誠一郎氏寄贈

-8/7日

◎雨下猛虎図鐙

奈良利寿作 江戸時代・18世紀

荒天の岩場に座す虎を鉄鐙で立体的に表した奈良利寿の代表作です

11

彫刻

-8/28日

◎菩薩立像

鎌倉時代・13世紀

涼やかな顔立ちや装飾的な着衣が魅力的な鎌倉時代の優品です



◎四天王眷属立像

(東方天眷属)

康円作

鎌倉時代・文永4年(1267)

12

漆工

-8/7日

◎萩螺鈿鞍

平安時代・12世紀

萩の花枝は、輝く夜光貝。のちに隆盛する螺鈿鞍の先駆をなす作品です



◎虎溪笑蔭棚

伝幸阿弥長玄作

江戸時代・17世紀

13-1

金工

-8/21日

◎銅梅竹透鈿燈籠

室町時代・天文19年(1550)

千葉市中央区千葉寺町千葉寺址出土
畑野勇治郎氏寄贈



◎線刻十一面観音鏡像

平安時代・平治元年(1159)

和鏡の鏡面に穏やかな姿の十一面観音を線刻した鏡像の優品です



本号のトピック

本館2階

特集 令和3年度新収品

本館特別1室 展示期間：8月2日(火)～28日(日)

この夏、本館特別1室では、令和3年度に新しく当館の収蔵品に加わった文化財のうち、主な作品を展示します。「文化財の収集」は、当館の最も重要な事業のひとつです。本特集を通じて、その成果と意義をお伝えします。

当館にもゆかりの深い模本

ウサギとカエルの相撲などでおなじみの国宝「鳥獣戯画」の写しです。この模本を手がけた前田貫業は当館の前身である博物館で模写事業を担った日本画家です。国宝「鳥獣戯画」は明治14年(1881)頃、博物館で修理されており、この時に写されたものかもしれません。草創期の当館の歴史を知る上でも大変貴重な作品です。(土屋貴裕)



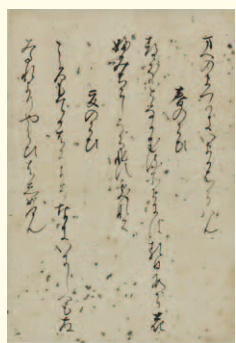
鳥獣戯画(模本) (部分)

前田貫業模 明治19年(1886) 羽田孝之氏寄贈

見事な筆の運びに

惚れぼれ

金銀の揉箔を散らした料紙に『道済集』巻十九から和歌を2首半書写しています。もとは綴葉装の冊子本で平安時代の『道済集』の唯一の遺品です。墨線がねじれているように見えるため、「紙燃切」と呼ばれます。右肩上がりのリズムカルな筆遣いで、ときに7文字を連綿にしているため、現代でも人気があります。(恵美千鶴子)



○道済集巻十九断簡(紙燃切)

伝藤原佐理筆 平安時代・11世紀
鏡たね氏寄贈

武具をかたどった

埴輪の優品

鞆とは袋状の革製品で、矢を射る際に弓をもつ手首に装着し、弓の弦が手首にあたることを防ぐための武具です。本作は円筒部を欠きますが、直弧文が崩れた幾何学文が特徴です。帝国博物館や東京帝室博物館に勤め、国文学や国史学の分野において活躍した群馬県出身の黒川真道氏の旧蔵資料で、研究史上著名な作品です。(河野正訓)



埴形埴輪残欠

古墳時代・6世紀
伝群馬県高崎市八幡原町出土
黒川真三男氏寄贈

-7/10日

ドゥスディー白地竹鶴模様

沖縄本島 第二尚氏時代・19世紀
鎌倉芳太郎氏寄贈



-8/21日

犬橇模型

樺太アイヌ 19世紀
農商務省北海道事業管理局寄贈
橇本体は木製で滑走部には鯨骨が貼られ、手綱はアザラシの革です



16

アイヌと琉球

6・7・8月

本館展示 ジャンル別

17

16

18

特別4室

19

20

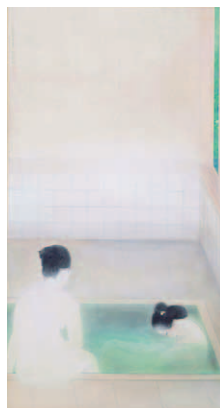
18

近代の美術

-7/10日

出湯

小林古徑筆 大正10年(1921)
女性の肌や壁面の淡い色彩と、黒髪や湯の色の対照が際立っています



7/12(火)-10/2(日)

馬

後藤貞行作 明治26年(1893)
軍馬局に勤め、彫刻を学んだ
後藤の迫真の写実表現



ボランティア活動を再開しています

コロナ禍で活動を停止していたボランティア活動ですが、昨年より新規ボランティアも加わり、少しずつ活動を再開しています。館内各所のご案内のほかに、本館特別4室「日本文化のひろば」のサポートも開始しました。

また、ガイドツアーも4月より「樹木ツアー」「たてもの散歩ツアー」が再開し、今後、「庭園茶室ツアー」「お茶会」も再開予定です。

展示室内のガイドの代わりに、当館ウェブサイト内「みどりのライオン オンライン」で各グループがWEB新聞を発行していますので、ぜひご覧ください。今年度も、従来とは違う形でお楽しみいただけるよう計画中です。今後の催しは、当館ウェブサイトをご覧ください。

*ガイドツアーは、諸事情により中止する場合があります。

*お茶会は、お点前のデモンストレーションをご覧いただく形に変更しています。



ボランティアによる「たてもの散歩ツアー」の様子

「みどりのライオン体験コーナー」再開しました

閉室していました、本館1階19室「みどりのライオン体験コーナー」は、2022年4月5日(火)より再開しています。

こちらでは、東京藝術大学大学院インターンによる、「紅型ができるまで」の工程見本の展示をしています。当館所蔵の紅型作品をもとに、現在手に入る材料を用いて復元制作しました。沖縄復帰50年記念 特別展「琉球」(→2ページ)と合わせてご覧ください。

*体験できるアクティビティは、一部休止しているものもあります。



展示の様子

さまざまなサービスやプレゼントもあります!

オンライン 子どものためのギャラリートーク

研究員が作品の見かたやおもしろさをわかりやすく解説した動画を、ウェブサイトの専用ページで配信します。展示室のQRコードをスマートフォンで読み取れば、作品を見ながら解説を聞くこともできます。

キッズスペース

キッズマットでのびのび遊べます。また、授乳スペース、ミルクや離乳食のためのお湯、電子レンジもあります。おもちゃもたくさんあります。



2019年の様子

利用時間: 10:00~16:00

場所: 本館地下みどりのライオン(教育普及スペース)

*授乳スペースは本館、平成館、正門プラザにもあります。詳しくはスタッフにおたずねください。

トーハク来館記念アルバム&トーハクコレクションカード

月イチ! トーハクキッズデー限定で、「トーハク来館記念アルバム」と当館所蔵のおすすめ作品を紹介する「トーハクコレクションカード」を無料配布します(各日なくなり次第、終了)。カードの作品は毎月違いますので、お楽しみに。トーハクコレクションカードといっしょに、記念にとった写真やポストカードなど、トーハクでの思い出をアルバムに入れて、自分だけの「トーハク来館記念アルバム」をつくってみよう!

みどりのライオン



※掲載されている催し物につきましては、今後、予告なく変更・中止する場合がございます。当館ウェブサイト等でご確認ください。また、動画配信については、公開済、公開予定のコンテンツを掲載しています。

講演会・ギャラリートーク

月例講演会

月例講演会は当館大講堂にて実施しています。

詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。(事前申込制)

オンライン

ギャラリートーク

ご自宅等でお楽しみいただけるよう
YouTube による動画を配信しています。



東京国立博物館
YouTubeチャンネル

「掛軸の修理と補修紙の作製について」

講師: 大山 龍顕(保存修復室アソシエイトフェロー)

近年修理を終え、4月17日(日)まで開催していた、特集「東京国立博物館コレクションの保存と修理」で展示した作品の中から、掛軸の解体修理と使用する和紙や裏打ちの技術、作品に合わせて作製した補修紙などを解説します。



「近世仏画の魅力」

講師: 古川 攝一(平常展調整室研究員)

制作当初の表装や絵具が残る江戸時代の仏画。仏画が持つ美しさ、鑑賞性の高さを今に伝えてくれます。描いた人々にも注目しながらその魅力をお伝えします。



しょうごいん しんらみょうじんずう
聖護院・新羅明神像(模本) 冷泉為恭筆
江戸時代・19世紀 蛭川式胤氏寄贈
※現在は展示していません。

「親と子のギャラリー『翼と羽』」

講師: 横山 梓(教育講座室研究員)

毎春恒例、東京都恩賜上野動物園、国立科学博物館との連携企画です。今年のテーマは「翼と羽」。特集「親と子のギャラリー 翼と羽」の展示会場から鳥を中心としたさまざまな関連作品を、ご紹介します。



じざいかくまもの
自在鷹置物 明珍清春作
江戸時代・18~19世紀
※現在は展示していません。

展示室にある作品が、どんな道具を使い、どうやってつくられたのか、知っていますか？

子どもも大人も楽しめる「親と子のギャラリー」。この夏お届けするのは、作品の制作技法に注目した人気企画「日本美術のつくり方」の第5弾です。日本美術の多くは、作品だけを見ても、どのようにつくられたか想像が付きにくいかもしれません。当館のコレクションには、文化財とともにその制作技法を後の時代に残すための工程模型や技術記録、道具なども含まれています。本特集ではこうした収蔵品も交えながら、伝統的技法と、それらを使ってつくられた作品と一緒にご紹介しします。

今回取り上げるジャンルは、「うるし」「やきもの」「きもの」。本館特別4室の体験型展示「日本文化のひろば」とあわせてお楽しみください。(中村麻友美)

うるし

漆を接着剤のように使い、金属の粉を蒔きつけて美しい模様をつくる蒔絵の技法とそのバリエーションをご紹介します

しゅうけいまいき えりょう しほこ
秋景蒔絵料紙箱
江戸時代・18世紀
蒔絵を使って、月下の水辺に菊や萩などの秋草が咲き乱れる様子を描いています



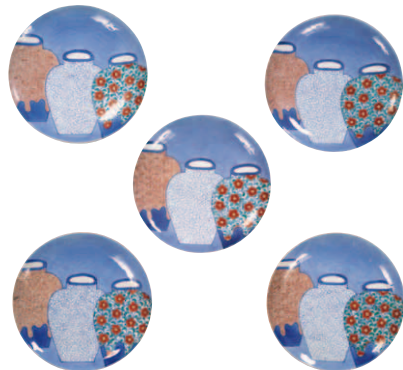
やきもの

さがほんなべしまけ
佐賀藩鍋島家が将軍や大名への献上品として制作した色鍋島。その制作工程と、デザインの特徴にスポットをあてます

いろえさん こもんさら
色絵三壺文皿

鍋島 江戸時代・17世紀
中路三平氏寄贈

5客で1組の色鍋島のお皿。複雑な絵柄を複製できる秘密に迫ります



きもの

着物の染色技法のひとつである友禅染に注目。筆や刷毛で色を挿したりぼかししたりして、絵を描くように染め上げます

こそで
こやへいげん しつばき しだれやなぎかけくもよう
茶平絹地椿枝垂柳掛軸模様
江戸時代・18世紀
この着物の柳の細い線や、掛軸の複雑な模様を実現できるのが、友禅染の特徴です



(部分)

月イチ！ トーハクキッズデー



「子どもが騒いだりすると迷惑なのでは…」、「博物館は子どもには難しそう…」そんな思いをもつご家族に、博物館のおもしろさを知っていただくための特別な1日、トーハクキッズデー。小さなお子様連れにも親しみやすいイベント、飲食や休憩ができるキッズスペースなどをご用意しています。

これまでは年に1回の開催でしたが、創立150年を迎えた2022年4月から2023年3月までは、月に1回開催しています。心おきなくお子様と博物館を楽しんでもらえる1日が毎月やってきます。毎月第4日曜日はトーハクへ！



月イチ！トーハク
キッズデーは
こちらから

7月24日(日)は グランド・キッズデー！

「月イチ！トーハクキッズデー」より、イベント数を増やして開催します。この日はどなたでも無料で入館できます。

実施期間：2022年4月～2023年3月の毎月第4日曜日
対象：0歳～中学生とその保護者(小・中学生だけでの参加可)
入館料：一般1000円／大学生500円
※高校生以下は無料、特別展は別途観覧料が必要

6～8月のイベント

日時	イベント	場所	時間
6月26日	紙芝居『ぶんぶくちやがま』	本館4室	10:30、12:00、14:00、15:30
	みんなでつくる記念チケット・お絵描きコーナー	本館2階ラウンジ	10:00～17:00(受付終了16:30)
	うるし体験ペーパークラフトプリントサービス	本館特別4室	10:00～17:00
	学校版トーハクナビ貸出	本館1室前	10:00～17:00(受付終了16:00)
	紙芝居『ぶんぶくちやがま』	本館4室	10:30、12:00、14:00、15:30
7月24日	みんなでつくる記念チケット・お絵描きコーナー	本館19室	10:00～17:00(受付終了16:30)
	うるし体験ペーパークラフトプリントサービス	本館特別4室	10:00～17:00
	さわってみよう！考古ハンズオン	平成館考古展示室前	10:00～16:45
	学校版トーハクナビ貸出	本館1室前	10:00～17:00(受付終了16:00)
	コロタイプ印刷ワークショップ	本館1階ラウンジ	10:00～16:00
8月28日	紙芝居『かぐや姫』	本館18室	10:30、12:00、14:00、15:30
	うるし体験ペーパークラフトプリントサービス	本館特別4室	10:00～17:00
	学校版トーハクナビ貸出	本館1室前	10:00～17:00(受付終了16:00)

紙芝居



作品に関連したお話を展示室で行います

ペーパークラフト



オリジナルの小箱をデザインし、型紙を印刷します。組み立てると手のひらサイズの箱のできあがり

※イベントは追加、変更する場合があります ※イベントの詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

野外展示作品ジェンナー像をメンテナンスしました

当館の正門を入って右手に、世界初のワクチンを開発したエドワード・ジェンナー（1749～1823）のブロンズ像があることをご存じでしょうか？

この像は、明治29年(1896)のワクチン発明100年記念の後、大日本私立衛生会がジェンナーを顕彰するために制作を計画し、明治37年(1904)に設置したものです。彫刻は、よねはらうんかい米原雲海（1869～1925）が担当しました。

野外のブロンズ像は、植物や粉塵、鳥の糞などで汚れたままにすると美観が損なわれるだけでなく、表面が錆びるなど、元の形を保てません。そのため、定期的な洗浄、防錆処置、ワックス塗布などのメンテナンスが重要です。これまで汚れと錆で彫刻が見えづらい状態になっていましたが、本来の姿によりみがえりました。



メンテナンス後



ワックス塗布作業の様子

臨時休館に伴う会員制度の有効期限延長について

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館を、2021年4月25日(日)から5月31日(月)にかけて実施したことに伴い、会員制度の有効期限を延長しております。窓口での延長手続きは不要ですので、対象となる会員証および各種無料券を入口等でご提示ください。なお、賛助会につきましては、有効期限の延長は行いませんので、ご了承ください。

【対象】

有効期限 2021年4月25日(日)～2022年5月30日(月)の「友の会」「メンバーズプレミアムパス」「国立博物館メンバーズパス(4館共通)」の会員証をお持ちの方。その他、他館会員制度や、寄附特典等で配布された各種無料券も延長対象となります。

【延長期間】

会員証・総合文化展招待券・ミュージアムシアター無料観覧券(鑑賞チケット引換券)→元の有効期限から37日間(臨時休館日数分)延長
特別展観覧券→元の有効期限から3か月間延長

※詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

手ぬぐいをプレゼント

大好評の伊藤若冲自画自刻の「玄圃瑤華」を使用したポスターデザインの手ぬぐいを10名様にプレゼントします。締切は9月12日(月)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※手ぬぐいは1種類のみです。販売はしていません。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース6・7・8月号」プレゼント係



「案内と地図」の表紙をリニューアルしました

「案内と地図」は、当館の概要や館内マップを掲載した総合案内パンフレットです。4月から館内で配布中の2022年度版は、創立150年を記念し、従来版から表紙デザインを



一新しています。表紙を彩るのは、当館創立の契機となった湯島聖堂での博覧会の様子が描かれている錦絵「古今珍物集覧」です。日本語版のほか、外国語版も各種ご用意しております。ご来館の際は館内巡りのおともにお役立てください。

「Masterpiece Moment」で 国宝「松林図屏風」が紹介されました

バンク・オブ・アメリカが配信する動画シリーズ「Masterpiece Moment」で当館所蔵の国宝「松林図屏風」が紹介されています。このシリーズは、世界の主な博物館・美術館の代表的な所蔵品をその館の館長が紹介する映像プログラムで、ウェブ上で全世界に公開されています。今年になってから大英博物館を皮切りに数館の所蔵品が紹介されました。「松林図屏風」はこの秋の特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」(→2ページ)にも出品されますが、その前に「Masterpiece Moment」で検索して、改めて見どころをチェックしてみたいかをご紹介します。



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

VR作品『東博のミイラ デジタル解剖室へようこそ』
7月24日(日)まで

明治37年(1904)にエジプトから東京国立博物館に贈られた一体のミイラ。黒く覆われた棺には何が描かれているのか、包帯に包まれた人物は誰なのか…。3000年の時を超え、古代エジプトのミイラの謎が解き明かされます。

料金：一般・大学生・高校生600円、中学生300円、小学生・未就学児・障がい者とその介護者各1名は無料(1作品/1回あたり)、別途入館料が必要です。開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。

※所要時間 約35分です。

*小学生以下の来場者にはミイラのぬりえをプレゼント(なくなり次第終了)。
*小学生は、本VR作品に限り、無料でご覧いただけます。

【予告】VR作品『故宮VR 紫禁城・天子の宮殿』
7月26日(火)～10月16日(日)(予定)

※演出・スケジュール・定員は、都合により変更となる場合がございます。
※詳細はウェブサイト (<https://www.toppan-vr.jp/mt/>) をご覧ください。



6・7・8月の休館日情報

休 館 日	6月	7月	8月
	6日、13日、20日、27日	4日、11日、19日、25日	1日、8日、22日、29日

※開館時間、休館日等の最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

◆東京国立博物館利用案内

総合文化展観覧料金 一般1,000円、大学生500円

●事前予約は不要です。

※混雑時には展示施設前でお待ちいただく可能性があります。

※特別展の入館方法は展覧会ごとに異なります。

詳細は展覧会公式サイトをご確認ください。

●障がい者とその介護者1名は無料。

満70歳以上、高校生以下および満18歳未満の方は無料。

●敬老の日(9月19日<月・祝>)、文化の日(11月3日<木・祝>)は、総合文化展のみ観覧無料。

創立150年を記念して、

7月20日(水)～7月24日(日)は

総合文化展のみ観覧無料 です。

詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、
Twitter、Instagram、メールマガジンで！

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>



【ご注意】 2021年4月1日(木)より、賛助会員制度及び会員制度を以下のように改定し、賛助会は名称及び特典、会員制度は年会費及び特典が変更となりました。詳細は当館ウェブサイトやチラシをご確認ください。なお、2021年3月31日(水)までに発行された会員証の特典は、有効期限内に限りご利用いただけます。

◆東京国立博物館賛助会員(寄附会員制度)募集のご案内

東京国立博物館の運営の趣旨にご賛同いただける団体・個人向けの寄附会員制度です。寄附会金控除の対象になります。

【主な特典】 特別展内覧会へのご招待 など

【年会費】 <団体> プレミアム会員 1,000万円以上、特別会員 100万円(1口)、維持会員 20万円
<個人> プラチナ会員 100万円以上、ゴールド会員 20万円、シルバー会員 5万円

【申込方法】 会員受付窓口、ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込
詳細は担当までお問合せください。

◆東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、1年間のうち何度でもご来館いただける会員制度をご用意しております。

友の会 発行から1年間有効 年会費:7,000円

【特典】 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を3枚と、ミュージアムシアター観覧券1枚、ショップ・レストラン割引などさまざまな特典があります。

*2021年4月以降にお申込みの方で、本誌の郵送をご希望される場合は、別途「東京国立博物館ニュース」の定期購読をお申込みください。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効 年会費:一般2,500円、学生1,200円

【特典】 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能です。

東京国立博物館ニュース定期購読

年会費:1,000円(1年分)

【特典】 東京国立博物館ニュースを年4回、1年分ご指定の場所に送付いたします。*次号(9-11月号)より送付をご希望の場合、締切は2022年8月10日(水)です。

○申込方法

1. 会員受付窓口

当館正門前の会員受付窓口で即日発行し、当日からご使用いただけます(現金またはクレジットカード、電子マネー)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替<振替用紙を送付>)。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生<4館共通のみ>)、③メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)、④郵便番号、⑤住所、⑥氏名(ふりがな)、⑦電話番号を通信欄・ご依頼人欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

●友の会または国立博物館メンバーズパス(4館共通)にお申込みの方で、「東京国立博物館ニュース」の送付をご希望の方は、振替用紙に『東京国立博物館ニュース定期購読希望』とご記入のうえ、各会費に追加料金として1,000円を加えた金額をお振替ください。

●振替用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで、2週間程度かかります。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*お申込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

○お問合せ

電話 03-3822-1111(代) / FAX 03-3821-9680

総務課渉外開発担当

*月～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

表紙の名品

2022年6月・7月・8月号

め の う き ん ぎ ょ 瑪瑙金魚

7月5日(火)～10月2日(日)

東洋館9室

まるまるとした体と大きな目玉、おめでたい金魚たち



瑪瑙金魚

清時代・19世紀 神谷伝兵衛氏寄贈
長さ62.0cm

こちらの金魚たちは瑪瑙を加工した玉器です。玉器は、中国を代表する工芸品です。美しい石のことを玉といい、それを加工したのが玉器です。中国における玉器の歴史は、太古の新石器時代にまでも遡り、最後の王朝であった清の時代までも尊ばれ、現在でも愛玩されています。

玉は石なので、これを彫刻したり磨いたりするのは高度な技術が必要でした。そのため玉を加工することを、特に攻玉といいます。古代中国では、玉には霊力があると信じられ、祭祀には玉器を用い、死者の身体を玉器で飾りました。やがて宋時代になると、そのような古い玉器を骨董品のように鑑賞したり、古物を模倣した玉器がつくられました。そして清時代の乾隆帝の治世になると、新疆のホータンあたりから多くの上質の玉が届くようになり、また、東南アジアから翡翠やルビーも届くようになり、多彩な玉の色調を生かした観賞用の玉器がつくられました。このような玉器を俏色といえます。俏とは、似る、象るという意味です。

当館が所蔵する瑪瑙金魚も俏色のひとつです。金魚は目

玉が大きな出目金で、瑪瑙の赤い部分と白い部分を巧みに生かして、金魚の斑文が表されています。中国語では「魚(ユイ)」という漢字の読みが、「余(ユイ)」に通じることから、金魚はあり余る富を象徴する吉祥のモチーフとされています。この金魚たちは、天の恵みである素材の良さを人間の技術によって更なる高みに上げた、おめでたい工芸品です。

(猪熊兼樹)



瑪瑙の色調を生かして、吉祥的な鑑賞品としてつくられた金魚です

(部分)